

ハンネス・マイヤーの建築思想と独ソ建築界（1926-1930年） 正誤表

2023.3 専修大学出版局

章	ページ	行	誤	正
目次	ii	1	公共	公衆
序論	8	6	新しい建築教育	新しいバウハウス教育
		7	Bauhauslehre Von	Bauhauslehre: Von
第1章	33	11	【図5、7】	【図5、6、7】
第2章	46	6	ガラス、	ガラスは、
	56	6	工業（技術者）芸術（家）	工業（技術者）が芸術（家）
	62	17	住宅垂直的なもの	住宅は垂直的なもの
		20	肯定とが	肯定が
	65	20	ことに。.	ことにみる。
	69	19	理できる	理解できる
	72	17	19世紀の建設は、	19世紀の建設では、
		21	今日の建築家は、	今日の建築家の課題は、
	85	15	【図35】	【図37】
	87(注49)	5	Winkler	Winkler
第3章	109	3	本案	翻案
	115	16	芸術（家）の役割は	芸術（家）は
	118	25	活発に。	活発にする。
	122	3	大きな社会的な意味	大きな意味
	141	27	強調している地域性の強調	強調している。地域性の強調
			保守的な（Heimatschutz）へと	保守的な郷土保護（Heimatschutz）へと
	157	19	科学科	科学化
	158	14	正当	政党

章	ページ	行	誤	正
第4章	173（注89）	1	の統合を目的と	の統合、
第5章	192	23	中でしたのは	中で表明したのは
	201	13	化学	科学
	217	24	集権	周辺
	232	27	舞台が	舞台は
参考文献	316	10	49-50頁	49-55頁
		16	出典なし	『デザイン理論』、第31号、関西意匠学会、31-44頁
	317	3	日独文化構造比6較	日独文化構造比較
		8	1920 年台	1920 年代
		22	アプリア	アポリア
		23	年 住居の	都市 住まいの
	318	2	2002年	2002b年
		14	中陰	中心
人名索引	324	ナ	ナジ、モホリ	モホリ=ナジ、ラースロー